

2024年度 最終 1月 京大本番レベル模試

日本史探究・採点基準

単答問題部分

◆単答問題・共通の原則◆

- ① 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。
また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記、カタカナで書くべき用語（語句）の漢字・ひらがな表記にも得点を与えない。漢数字を含む用語（語句）について算用数字をもちいた表記にも得点を与えない。
- ② 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
- ③ 部分点は設けない。
- ④ 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

I (1点×18=18点)

*許容解など

特になし。

II (1点×20=20点)

*許容解など

特になし。

空欄補充問題。「最も適当な語句を記せ。」という指示が明示されているため、原則別解なし。

III (1点×27=27点)

*許容解など

特になし。

ア～ソは空欄補充問題。「最も適当な語句を記せ。」という指示が明示されているため、原則別解なし。

論述問題部分

◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**以内のものは太字・アミカケ□□で、**2点**以内のものは二重線□□で、**1点**以内のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、<>内に示した事項に内容が反していないかを確認する）。例外的対応などについては※で示してある。
2. 加点要素に直接関係している**歴史用語等**（太字で表示）について、①誤字・略字を含む表記、②漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記、③漢数字を含む語句への算用数字をもちいた表記は、原則として当該加点要素の配点から漢字1文字分につき**1点減点**とするが、同一語句・文字がくりかえし不適正な形で表記されている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。④脱字、当て字のある**歴史用語等**の表記は、**非加点**とする。
3. 制限字数を超過した答案については、模試という性質を考慮して対処する。

◆採点基準上の記号◆

1. ◎ …前提条件 (例) 「◎**アメリカ**」
「**a 第一次世界大戦**に参戦した」
→答案例「**イギリス**は**第一次世界大戦**に参戦した」
◎の内容と整合性がないため**非加点**
※◎の内容は答案構成において明白にされていなければ必ずしも記されていなくても良い
2. < > …前提条件 (例) 「**a <首相の>浜口雄幸**」
→答案例「**浜口雄幸**蔵相」
< >の内容と整合性がないため**非加点**
※< >の内容は答案構成において明白にされていなければ必ずしも記されていなくても良い
3. [] …別表現 (例) 「**a 益田 [天草四郎] 時貞**」 → 「**益田時貞**」と「**天草四郎時貞**」
4. () …省略可能箇所 (例) 「**a 遙任(国司)**」 → 「**遙任**」と「**遙任国司**」

I (1点×2=2点)

B (7)

◆加点要素の合計1点→1点満点◆

◎「**両殿御不和**」

a **足利尊氏**と**足利直義**の対立

……………1点以内

C (16)

◆加点要素の合計1点→1点満点◆

◎「**勸告**」とそれへの対応

a **オランダ国王の开国勸告**で、拒否した

……………1点以内

III (1点×3=3点)

A (4)

◆加点要素の合計1点→1点満点◆

◎**中期の古墳の被葬者**

a **武人的性格**

……………1点以内

(5)

◆加点要素の合計1点→1点満点◆

◎「**遺跡群**」

a **保存状態のよいものが少ない**

……………1点以内

B (6)

◆加点要素の合計1点→1点満点◆

◎「**措置**」

a **ポルトガル船の来航禁止**

……………1点以内

IV (15点×2=30点)

(1)

◆加要素の合計15点→15点満点◆

◎影刻 a

a 天平文化期の乾漆像である東大寺(の)法華堂(の)不空羂索観音像 ……2点以内

◎影刻 b

b 天平文化期の塑像である東大寺(の)法華堂(の)執金剛神像 ……2点以内

◎影刻 c

c 弘仁・貞観文化期の翻波式が用いられた一木造の室生寺弥勒堂(の)釈迦如来像 ……3点以内

◎影刻 d

d 弘仁・貞観文化期の密教に関する観心寺(の)如意輪観音像 ……2点以内

◎影刻 e

e 国風文化期の浄土教に関する平等院鳳凰堂(の)阿弥陀如来像 ……2点以内

◎影刻 e の作者

f 定朝 ……1点以内

◎影刻 e にみられる制作技法

g 末法思想のもとでの仏像の大量需要に応えた寄木造 ……3点以内

(2)

◆加要素の合計15点→15点満点◆

◎明との国交の樹立

a 足利義満が祖阿・肥富を派遣して日本国王に冊封された ……3点以内

※副使を正使よりも先に示した「肥富・祖阿」は「祖阿」が「正使」、で「肥富」が「副使」であることを明示していない限りは「祖阿・肥富」の代替表現とは認めない

◎明との貿易

b 〈日本側〉勘合の持参を義務づけられた ……1点以内

c 〈日本側〉滞在費・運搬費を負担してもらえた ……1点以内

d 朝貢形式を不服とする足利義持が停止した ……2点以内

※a より前のこととしている場合は非加点。

e (貿易)利益を重視する足利義教が再開した ……2点以内

※a・d より前のこととしている場合は非加点。

f 堺商人と結んだ細川氏や博多商人と結んだ大内氏が貿易の実権を持った ……2点以内

※a・d・e より前のこととしている場合は非加点。

g 寧波の乱を経て大内氏が独占した ……2点以内

※a・d・e・f より前のこととしている場合は非加点。

h 大内義隆が陶晴賢に滅ぼされて途絶した ……2点以内

※a・d・e・f・g より前のこととしている場合は非加点。